

大学入試センターの「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等  
について－中間まとめ－」に対するアンケート調査結果について

○ 概 要

1. 全国立大学95大学346学部について、アンケート調査を実施した。
2. 回収率      大 学    95大学    100%  
                学部等   346学部等 100% (338学部, 6学群, 2新設学部)
3. 次の5大学については、複数学部をまとめて1大学としての回答であるが、学部数を乗じて集計した。  
    東京大学 10学部, 東京医科歯科大学 2学部, 東京工業大学 3学部, 一橋大学 4学部, 京都工芸繊維大学 2学部
4. 複数回答してある学部・学科等については、回答学科等の数に拘らず、回答設問の数を等分して集計した。(2つ回答した場合1/2, 3つ回答した場合1/3)
5. 外国語については、複数項目の回答を可としてあるので、それぞれの選択肢について、346学部中の学部数の割合を示してある。
6. なお、Ⅲ. のその他については、それぞれの欄への回答学部数と、その346学部中の割合とを示し、内容は分類して表記してある。
7. 次の5大学については、教養部等の回答があったので、別紙として集約した。  
    新潟大学教養部, 岐阜大学教養部, 静岡大学教養部, 名古屋大学言語文化部,  
    九州大学教養部及び言語文化部。

「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等について ― 中間まとめ ―」  
に対するアンケート調査回答票

○アンケート調査集計結果：【   】内に 該当学部数及び百分率を示してある。

大学名 \_\_\_\_\_  
学部名 \_\_\_\_\_

I. この「中間まとめ」では、高等学校の履修教科・科目の多様化に伴い、大学入試センター試験の出題教科・科目を現行の5教科18科目から6教科31科目に増加させることとなっています。

また、地理歴史や理科においては、新学習指導要領に基づいて、Aを付した科目（標準単位数2単位）とBを付した科目（標準単位数4単位）の2種類の科目が共に出題され、国語や数学においても、これまでより多様な出題科目となっています。

つきましては、この「中間まとめ」の全体的構成について、ご意見をお伺いします。

該当する項目の番号を○で囲んで下さい。

また、学科・課程・専攻等（以下「学科等」という。）により意見を異にする場合は、該当する意見の【   】内に学科等名をご記入下さい。

1. 「中間まとめ」の全体的構成について賛成である。                   【 224・5 / 6 (65.0%) 】
2. 「中間まとめ」の全体的構成の一部について意見がある。           【 84・5 / 6 (24.5%) 】
3. その他   【 26・1 / 3 ( 7.6%) 】

(一部についての意見又はその他の意見の概要)

別紙Iにまとめてある。

- 未記入・保留等   【 10                   (2.9%) 】

II. 「中間まとめ」に関する、いくつかの基本的内容の問題点について、ご意見をお伺いします。  
該当する項目の番号を○で囲んで下さい。

また、その他の意見のときは、その概要を( )内にご記入下さい。

なお、学科等により意見を異にする場合は、該当する意見の[ ]内に学科等名をご記入下さい。

### 1. 国語について

(1) 国語については、「国語Ⅰ」(4単位)、及び『国語Ⅰ・国語Ⅱ』(8単位)の2科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっています。これは現行の指導要領で、「国語Ⅱ」が「国語Ⅰ」に引き続きすべての生徒に履修させることが望ましいとされ、いわゆる準必修として取扱われているのに対して、新指導要領では、「国語Ⅱ」は選択科目となり、履修が義務付けられなくなったことに対応しての措置ですが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 「国語Ⅰ」と『国語Ⅰ・国語Ⅱ』をそれぞれ別の科目として出題することに賛成である。  
【163・2/3(47.3%)】
- ② 「国語Ⅰ」と『国語Ⅰ・国語Ⅱ』の違いは必ずしも明確でないので、現行どおり『国語Ⅰ・国語Ⅱ』のみとして出題する方が良い。  
【163・1/6(47.2%)】
- ③ その他( ) 【11・1/6(3.2%)】
- 未記入・保留等 【8 (2.3%)】

(2) また、国語については、現行の『国語Ⅰ・国語Ⅱ』と同程度の水準を確保する観点から、国立大学としては、『国語Ⅰ・国語Ⅱ』に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 『国語Ⅰ・国語Ⅱ』に限定して指定することに賛成である。【188・1/6(54.4%)】
- ② 特に限定して指定する必要はない。【132・1/6(38.2%)】
- ③ その他( ) 【16・2/3(4.8%)】
- 未記入・保留等 【9 (2.6%)】

### 2. 地理歴史及び公民について

(1) 地理歴史については、Aを付した科目(2単位)とBを付した科目(4単位)の6科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっています。

現行の「世界史」「日本史」「地理」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をし易くすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、Bを付した科目に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 原則として、Bを付した科目を限定して指定することに賛成である。  
【121・1/3(35.1%)】
- ② 大学・学部の判断により、Bを付した科目に限定して指定することがあっても良いと考える。  
【149・1/3(43.2%)】
- ③ 特に限定して指定する必要はない。【60・1/6(17.4%)】
- ④ その他( ) 【7・1/6(2.1%)】
- 未記入・保留等 【8 (2.3%)】

(2) 公民については、「現代社会」(4単位)、「倫理」(2単位)及び「政治・経済」(2単位)の3科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっていますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 「倫理」と「政治・経済」をそれぞれ独立させて出題することに賛成である。  
【145・1/3(42.0%)】
- ② 現行の『「倫理」・「政治・経済」』のように統合する方が良い。  
【175・1/3(50.7%)】
- ③ その他( )【16・1/3(4.7%)】
- 未記入・保留等【9(2.6%)】

(3) 地理歴史と公民からそれぞれ1科目の計2科目を解答させることは、受験生の負担等をふまえた高等学校長協会等からの要請に配慮すれば、好ましくないとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 現行の負担程度に止めるため、地理歴史と公民をあわせて、その中から1科目を解答させることに賛成である。  
【119(34.4%)】
- ② 大学・学部の判断により、地理歴史と公民から、それぞれ1科目の計2科目を解答させる大学があっても良いと考える。  
【207(59.8%)】
- ③ その他( )【13(3.8%)】
- 未記入・保留等【7(2.0%)】

### 3. 数学について

(1) 数学については、【「数学Ⅰ」(4単位)、『数学Ⅰ・数学A』(6単位) [グループ①という。]】及び【「数学Ⅱ」(3単位)、『数学Ⅱ・数学B』(5単位)、「工業数理」,「簿記」『情報関係基礎』[グループ②という。]】のように2つのグループに分けて出題され、それぞれのグループにおいて1科目を選択解答させることとなっていますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 2つのグループから、それぞれ1科目の計2科目を選択解答させることに賛成である。  
【139・2/3(40.4%)】
- ② 大学・学部の判断により、いずれか1つのグループのみを限定することがあっても良いと考える。  
【184・1/6(53.2%)】
- ③ その他( )【14・1/6(4.1%)】
- 未記入・保留等【8(2.3%)】

(2) また、数学については、現行の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をし易くすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 大学・学部の判断により、このように限定して指定することがあっても良いと考える。  
【273・2/3(79.1%)】
- ② 特に限定して指定する必要はない。  
【58・2/3(17.0%)】
- ③ その他( )【4・2/3(1.3%)】
- 未記入・保留等【9(2.6%)】

#### 4. 理科について

理科については、Aを付した科目（2単位）とBを付した科目及び「総合理科」（以下、「Bを付した科目等」という、4単位）の9科目を2つのグループに分けて出題され、それぞれのグループにおいて、1科目を選択解答させることとなっています。

現行の「物理」「化学」「地学」「生物」及び「理科I」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をし易くすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、Bを付した科目等に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

- ① 原則として、Bを付した科目等を限定して指定することに賛成である。  
[ 121・1/6 (35.0%) ]
- ② 大学・学部の判断により、Bを付した科目等に限定して指定することがあっても良いと考える。  
[ 168・1/2 (48.7%) ]
- ③ 特に限定して指定する必要はない。  
[ 35・1/2 (10.3%) ]
- ④ その他 ( ) [ 12・5/6 ( 3.7%) ]
- 未記入・保留等 [ 8 ( 2.3%) ]

#### 5. 外国語について

外国語については、リスニング・テストの実施について、設備・技術上の具体的な検討を行うこととしていますが、大学入試センター試験において、リスニング・テストを実施することについてどのように考えられますか。

この外国語については、複数の回答をしていただいても結構です。

- ① 設備や周辺環境等に多少問題があっても、早急に実施すべきである。  
[ 95 <27.5%> ]
- ② 設備や周辺環境等の諸条件が完全に整うまで、実施すべきでない。  
[ 166 <48.0%> ]
- ③ リスニング・テストは、受験生の公平確保の観点から、全国一斉に実施する大学入試センター試験にはなじまない。  
[ 137 <39.6%> ]
- ④ 各大学における第2次試験での実績をふまえて検討すべき問題であるとする。  
[ 133 <38.4%> ]
- ⑤ その他 ( ) [ 53 <15.3%> ]
- 未記入・保留等 [ 7 <2.0%> ]

#### Ⅲ. その他この問題全体についてご意見があれば、その要点についてご記入下さい。

別紙Ⅱにまとめてある。

[ 89 <25.7%> ]

I. 「中間まとめ」の全体的構成の一部についての意見又はその他の意見 (別紙 1)

1. 基本的問題点

(1) 大学入試センター試験科目の多様化について, 批判的意見 (29学部)

これらの意見では, 特に次の意見が具体的に指摘されている。

- (i) 全体的にみて, 細分化しすぎるし, 解りにくくなる。
- (ii) 混乱する恐れさえある。
- (iii) 単位数の異なる科目を同一に扱うのはおかしい。
- (iv) 科目間の問題の難易度や成績の分布に差が出やすい。
- (v) 実務が繁雑になり, 大学教職員の負担増になる。
- (vi) 受験生への負担増を招く。
- (vii) 全体のレベル低下につながる。
- (viii) 基本的な科目とそのアドバンスの科目に限定すべきである。

(2) 逆に選択科目を増加し, 選択の幅を広げるべきであるとの意見 (2学部)

出題科目として, 「家庭科」, 「英語II」を含めるべきであるとの意見が, 各1学部

2. 各教科・科目についての問題点

(1) 国語

「国語I」は除き, 「国語I・国語II」のみでよいとの意見 (1学部)

(2) 社会

(i) 「倫理」と「政治・経済」を統合して, 1科目として解答させるべきである。 (15学部)

なお, 統合した科目(4単位相当)の追加出題を望む意見 (1学部)

(ii) 地歴科と公民科の2教科は1教科として統合し, この中から1科目選択にした方がよい。 (7学部)

(iii) 社会科から地理と世界史のように2科目選択が可能のように考えるべきである。 (2学部)

(iv) 社会科のグループ分けは多様化に対応していない。 (1学部)

(3) 数学

(i) グループ②は, 「数学II」のみとし, 「数学B」は選択解答に受験生の混乱を招く等の理由から「数学II・数学B」を除くべきである。 (1学部)

(ii) 「数学I・数学A」の成績を, 「数学I」の成績として読み替えることを可能にする必要がある。 (2学部)

(iii) 「情報関係基礎」を数学の1科目とみなすことに疑義があり, とくに「数学II・数学B」などと併置することには反対意見がある。 (1学部)

(iv) グループ③として, 「数学III」や「数学C」を加える。 (2学部)

(4) 理科

グループ④について

(i) 2グループにまとめて選択の幅を狭めるのは, 大学教育での必要性和高校の理科教育への影響を考えると望ましくない。(主として物理と生物の組合せを可能にすべきだという意見)

(20学部)

(ii) 全科目(あるいは特定の教科目)から1または2科目を任意に選択できるようにすべきである。 (9学部)

- (iii) 従来どおりの3グループ, または新たな3グループの提案 (2学部)
  - (iv) 別の2グループ分け案の提起 (2学部)
  - (v) 2グループ分けの必然性についての疑問 (2学部)
  - (vi) その他1 (グループを増やす。5グループ) (2学部)
  - (vii) その他2 (高校で物理の受講生が減少していることへの対策の必要性) (1学部)
- (5) 外国語
- リスニング・テストについて
  - (i) 技術上の問題があり, 公平な試験が可能な条件が整うまで実施すべきでない。 (2学部)
  - (ii) 設備と試験場環境等の諸条件を整えて早急に実施すべきである。 (1学部)
3. IとII, AとB, 2単位科目と4単位科目(数学, 理科, 社会科)について
- (1) 異なった範囲と水準の科目に対して, 公平で等価な出題・採点ができるか疑問に思う。 (2学部)
  - (2) 上記の科目を並列して選択させるのは問題である。受験生が易きに流れる心配がある。 (2学部)
  - (3) 同一教科内の2単位科目と4単位科目とで, 問題の難易度が変わるのかどうかの情報がほしい。 (1学部)
4. 高等学校カリキュラムとの関係
- (1) 高校のカリキュラムの実態を, 大局的に把握できる資料を国大協として入手できれば, 各大学に提供してもらいたい。 (1学部)
5. その他
- (1) 学部独自の2次試験との関連づけの問題や, 資料不足等の理由で「全体的構成」についての評価を留保された学部が6学部あった。
  - (2) 大学入試センター試験の廃止の意見(2学部)等があった。

以 上

### Ⅲ. その他この問題全体への意見

(別紙Ⅱ)

#### 1. 基本的問題点

- (1) 高等学校の学習指導要領の改訂の基本を尊重し、高等学校教育の推進を計ることが必要  
(10学部)
- (2) 大学入試センター試験そのものの見直し又は改善を望む意見、例えば「資格試験化」、「異なる難易度の問題の出題」等  
(15学部)
- (3) 受験生の能力の低下をさせない方策が必要  
(2学部)
- (4) 出題教科・科目を多様にしすぎると、大学側の指定を増し、受験できる大学・学部が制限される。  
(10学部)
- (5) 大学入試センター試験の基本的性質上、国立大学全体として、あるいは、限定的にも制限の協定は設けるべきでなく、かつ、科目の指定は大学・学部によって可能なことは自明と考えるべきである。  
(1学部)
- (6) 各大学・学部での科目指定等の自由度を尊重してほしい。  
(6学部)
- (7) 「理科」、「社会」における4単位の科目と2単位の科目が同じ扱いでよいのか。  
(8学部)
- (8) 選択範囲を拡大しすぎると、業務負担が増すなどのことがあり、準備期間が必要である。  
(4学部)
- (9) 旧教育課程履修者に対する十分な配慮を望む。  
(1学部)

#### 2. 各教科・科目についての問題点

- (1) 「国語」(及び外国語)について、  
共通第一次学力試験から大学入試センター試験になったとき、試験時間が100分から80分に短縮されているので、今回の改訂では100分に戻すことが適当と考える。  
(1学部)
- (2) 「地歴」と「公民」の2教科を両方とも解答させるべきか否かは更に検討を要する。  
(2学部)
- (3) 「数学」について
  - (i) 「数学Ⅰ」のみの受験と、「数学Ⅰ及び数学A」の受験とが互換性をもつ扱いにするべきである。  
(4学部)
  - (ii) 職業科高校出身者に対する受験機会を奪うことのない配慮を必要とする。  
(1学部)
- (4) 「理科」について、  
グループ分けを従来どおり3グループとしてほしい。  
(10学部)✓
- (5) 「外国語」について、  
「リスニング・テスト」に関して、
  - (i) 早急に条件を整備すべきこと、という意見と、(ii) 条件が完全に整ってから実施すべきであるという意見がある。  
(9学部)
  - (iii) 難聴者等に対する配慮が必要とする意見  
(1学部)

#### 3. 今回のアンケート調査に対する意見

- (1) 大学入試センターの出題に関する項目と、大学・学部の利用の仕方が混在していて回答しにくい。  
(3学部)
- (2) 回答の選択肢に独立性のうたがわしいものがある。  
(5学部)

以上



アンケート調査集計結果 (別紙)

5 大学の教養部等の回答集計

[ ] 内に回答合計数を示してある。

I. 中間まとめの全体的構成

1. 【2・1/2】 2. 【1】 3. 【1/2】 未記入等【1】

II. 基本的内容の問題点

1. 国語

(1) ①【0】 ②【4】 ③【0】 未記入等【1】

(2) ①【2】 ②【0】 ③【1】 未記入等【2】

2. 地理歴史及び公民

(1) ①【2】 ②【1】 ③【1】 ④【0】 未記入等【1】

(2) ①【2】 ②【2】 ③【0】 未記入等【1】

(3) ①【1】 ②【3】 ③【0】 未記入等【1】

3. 数学

(1) ①【1・1/2】 ②【2・1/2】 ③【0】 未記入等【1】

(2) ①【3】 ②【1】 ③【0】 未記入等【1】

4. 理科

①【1・1/2】 ②【1・1/2】 ③【1】 ④【0】 未記入等【1】

5. 外国語

①【2】 ②【4】 ③【2】 ④【1】 ⑤【1】 未記入等【0】

III. その他

全般的問題について意見あり 【1】

以上

「平成9年度からの大学入試センター試験の出題教科・科目等について-中間まとめ-」

に対するアンケート調査回答票 (追補)

平成5年12月27日

国立大学協会

○ アンケート調査の概要

(1) 対象： 国立大学95大学346学部(学群を含む) [回収率100%]

(2) 全学部統計：【 】内に該当学部数、及び( )内に百分率を示してある。

なお、複数回答してある学部については、回答学科等の数に拘らず、回答の数を等分して集計した。

(例えば、2つ回答した場合は1/2、3つ回答した場合は1/3)

ただし、外国語については、複数回答を可としているので、そのまま集計した。

(3) 学部系統別統計：該当系統学部数の百分率を示してある。なお、筑波大学の6学群に含まれる16学類をそれぞれ該当する系統に分類し、学類数に(6/16)を乗じて6学部に対応するように扱った。

(学部系統)	(学部系統略称)	(学部数)
人文科学系	人	(30・1/8)
社会科学系	社	(51・1/8)
理学系	理	(32・3/4)
工学系	工	(54・1/8)
農学系	農	(37・3/8)
保健系	保	(66・3/8)
教育学系	教	(58・1/8)
商船、家政、芸術、 教養、総合、国際系	総合	(16)

なお、学部系統の詳細は添付別紙「大学の学部系統分類表」に示してある。

(集計結果)

I. この「中間まとめ」では、高等学校の履修教科・科目の多様化に伴い、大学入試センター試験の出題教科・科目を現行の5教科18科目から6教科31科目に増加させることとなっています。

また、地理歴史や理科においては、新学習指導要領に基づいて、Aを付した科目(標準単位数2単位)とBを付した科目(標準単位数4単位)の2種類の科目が共に出題され、国語や数学においても、これまでより多様な出題科目となっています。

つきましては、この「中間まとめ」の全体的構成について、ご意見をお伺いします。

全学部統計	学部系統別統計 (%)							
	人	社	理	工	農	保	教	総合
1. 「中間まとめ」の全体的構成について賛成である。 【 224・5/6 (65.0%) 】	75.1	57.0	57.8	61.4	77.3	63.8	69.5	62.5
2. 「中間まとめ」の全体的構成の一部について意見がある。 【 84・5/6 (24.5%) 】	14.9	31.3	24.9	26.6	18.7	30.1	21.8	12.5
3. その他 【 26・1/3 (7.6%) 】	6.6	9.8	11.2	10.2	4.0	1.5	8.7	12.5
○ 未記入・保留等 【 10 (2.9%) 】	3.3	2.0	6.1	1.8	0	4.5	0	12.5

一部についての意見又はその他の意見の概要 (略)

II. 「中間まとめ」に関する、いくつかの基本的内容の問題点について、ご意見をお伺いします。

1. 国語について

(1) 国語については、「国語Ⅰ」（4単位）、及び「国語Ⅰ・国語Ⅱ」（8単位）の2科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっています。これは現行の指導要領で、「国語Ⅱ」が「国語Ⅰ」に引き続きすべての生徒に履修させることが望ましいとされ、いわゆる準必修として取扱われているのに対して、新指導要領では、「国語Ⅱ」は選択科目となり、履修が義務付けられなくなったことに対応しての措置ですが、このことについてどのように考えられますか。

全学部統計	学部系統別統計 (%)							
	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 「国語Ⅰ」と「国語Ⅰ・国語Ⅱ」をそれぞれ別の科目として出題することに賛成である 【163・2/3 (47.3%)】	44.7	53.3	51.0	53.2	38.8	41.4	50.4	39.6
② 「国語Ⅰ」と「国語Ⅰ・国語Ⅱ」の違いは必ずしも明確でないので、現行どおり「国語Ⅰ・国語Ⅱ」のみとして出題する方が良い。 【163・1/6 (47.2%)】	47.6	38.9	39.9	42.6	55.9	57.1	45.9	45.8
③ その他 【11・1/6 (3.2%)】	4.4	3.9	6.1	2.5	2.7	1.5	2.0	8.3
○ 未記入・保留等 【8 (2.3%)】	3.3	3.9	3.1	1.8	2.7	0	1.7	6.3

(2) また、国語については、現行の「国語Ⅰ・国語Ⅱ」と同程度の水準を確保する観点から、国立大学としては、「国語Ⅰ・国語Ⅱ」に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 「国語Ⅰ・国語Ⅱ」に限定して指定することに賛成である。【188・1/6 (54.4%)】	52.6	50.4	52.5	48.5	66.6	65.3	47.3	50.0
② 特に限定して指定する必要はない。 【132・1/6 (38.2%)】	43.0	37.9	35.8	43.2	30.8	34.7	42.4	31.3
③ その他 【16・2/3 (4.8%)】	1.1	7.8	8.6	6.5	0	0	6.9	12.5
○ 未記入・保留等 【9 (2.6%)】	3.3	3.9	3.1	1.8	2.7	0	3.4	6.3

2. 地理歴史及び公民について

(1) 地理歴史については、Aを付した科目（2単位）とBを付した科目（4単位）の6科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっています。

現行の「世界史」「日本史」「地理」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をしやすくすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、Bを付した科目に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 原則として、Bを付した科目に限定して指定することに賛成である。 【121・1/3 (35.1%)】	37.3	37.6	32.2	32.6	41.9	38.4	29.4	27.1
② 大学・学部の判断により、Bを付した科目に限定して指定することがあっても良いと考える。 【149・1/3 (43.2%)】	46.1	49.1	40.8	40.6	34.9	40.5	46.8	52.1
③ 特に限定して指定する必要はない。 【60・1/6 (17.4%)】	12.4	11.4	16.9	19.6	20.5	19.6	20.9	8.3
④ その他 【7・1/6 (2.1%)】	0.8	0	7.1	5.4	0	1.5	1.1	0
○ 未記入・保留等 【8 (2.3%)】	3.3	2.0	3.1	1.8	2.7	0	1.7	12.5

(2) 公民については、「現代社会」（4単位）、「倫理」（2単位）及び「政治・経済」（2単位）の3科目が出題され、1科目を選択解答させることとなっていますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 「倫理」と「政治・経済」をそれぞれ独立させて出題することに賛成である。 【 145・1/3 (42.0%) 】	46.3	32.5	36.1	39.6	48.2	33.7	57.2	46.9
② 現行の「倫理」・「政治・経済」のように統合の方が良い。 【 175・1/3 (50.7%) 】	45.9	61.6	52.2	45.3	46.5	63.3	39.4	40.6
③ その他 【 16・1/3 (4.7%) 】	4.4	2.0	8.6	11.4	2.7	3.0	1.7	6.3
○ 未記入・保留等 【 9 (2.6%) 】	3.3	3.9	3.1	3.7	2.7	0	1.7	6.3

(3) 地理歴史と公民からそれぞれ1科目の計2科目を解答させることは、受験生の負担等をふまえた高等学校長協会等からの要請に配慮すれば、好ましくないとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 現行の負担程度に止めるため、地理歴史と公民をあわせて、その中から1科目を解答させることに賛成である。 【 119 (34.4%) 】	34.3	22.5	41.4	37.7	42.5	36.9	31.8	21.9
② 大学・学部の判断により、地理歴史と公民から、それぞれ1科目の計2科目を解答させる大学があっても良いと考える。 【 207 (59.8%) 】	56.3	65.8	49.4	54.6	54.8	61.6	66.5	71.9
③ その他 【 13 (3.8%) 】	6.1	11.7	6.1	4.0	0	1.5	0	0
○ 未記入・保留等 【 7 (2.0%) 】	3.3	0	3.1	3.7	2.7	0	1.7	6.3

### 3. 数学について

(1) 数学については、【「数学Ⅰ」（4単位）、「数学Ⅰ・数学A」（6単位）（グループ①という。）】及び【「数学Ⅱ」（3単位）、「数学Ⅱ・数学B」（5単位）、「工業数理」、「簿記」、「情報関係基礎」（グループ②という。）】のように2つのグループに分けて出題され、それぞれのグループにおいて1科目を選択解答させることとなっていますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 2つのグループからそれぞれ1科目の計2科目を選択解答させることに賛成である。 【 139・2/3 (40.4%) 】	19.4	31.3	32.1	44.8	51.8	49.5	41.3	37.5
② 大学・学部の判断により、いずれか1つのグループのみを限定することがあっても良いと考える。 【 184・1/6 (53.2%) 】	72.9	57.0	59.2	51.5	42.8	47.5	51.8	56.3
③ その他 【 14・1/6 (4.1%) 】	4.4	7.8	5.6	1.8	2.7	3.0	5.2	0
○ 未記入・保留等 【 8 (2.3%) 】	3.3	3.9	3.1	1.8	2.7	0	1.7	6.3

(2) また、数学については、現行の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をしやすくすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全学部統計	人	社	理	工	農	保	教	総合
① 大学・学部の判断により、このように限定して指定することがあっても良いと考える 【 273・2/3 (79.1%) 】	86.6	84.4	77.1	82.1	73.6	81.2	69.9	78.1
② 特に限定して指定する必要はない。 【 58・2/3 (17.0%) 】	5.7	10.8	16.8	14.5	23.7	18.8	24.9	15.6
③ その他 【 4・2/3 (1.3%) 】	1.1	1.0	3.1	1.5	0	0	3.4	0
○ 未記入・保留等 【 9 (2.6%) 】	6.6	3.9	3.1	1.8	2.7	0	1.7	6.3

#### 4. 理科について

理科については、Aを付した科目（2単位）とBを付した科目及び「総合理科」（以下、「Bを付した科目等」という、4単位）の9科目を2つのグループに分けて出題され、それぞれのグループにおいて、1科目を選択解答させることとなっています。

現行の「物理」「化学」「地学」「生物」及び「理科I」と同程度の水準を確保する必要や、受験生の複数大学併願をし易くすること等に配慮すれば、国立大学としては、原則として、Bを付した科目等に限定して指定すべきであるとの考え方がありますが、このことについてどのように考えられますか。

(%)

全 学 部 統 計		人	社	理	工	農	保	教	総合
① 原則として、Bを付した科目等を限定して指定することに賛成である。 【 121・1/6 (35.0 %) 】		22.4	25.2	37.7	40.8	49.2	45.2	33.4	0
② 大学・学部判断により、Bを付した科目等に限定して指定することがあっても良い と考える。 【 168・1/2 (48.7 %) 】		64.3	51.0	47.2	52.1	37.5	43.5	41.4	75.0
③ 特に限定して指定する必要はない。 【 35・1/2 (10.3 %) 】		4.1	13.4	5.0	3.7	8.0	10.5	19.9	12.5
④ その他 【 12・5/6 (3.7 %) 】		2.5	8.5	7.1	1.5	2.7	0.8	3.6	6.3
○ 未記入・保留等 【 8 (2.3 %) 】		6.6	2.0	3.1	1.8	2.7	0	1.7	6.3

#### 5. 外国語について

外国語については、リスニング・テストの実施について、設備・技術上の具体的な検討を行うこととしていますが、大学入試センター試験において、リスニング・テストを実施することについてどのように考えられますか。

この外国語については、複数の解答をしていただいても結構です。

(%)

全 学 部 統 計		人	社	理	工	農	保	教	総合
① 設備や周辺環境等に多少問題があっても、早急の実施すべきである。 【 95 (27.5 %) 】		26.6	22.2	40.8	32.8	13.4	16.6	41.3	25.0
② 設備や周辺環境等の諸条件が完全に整うまで、実施すべきでない。 【 166 (48.0 %) 】		24.5	35.9	60.3	66.5	51.8	45.2	49.9	37.5
③ リスニング・テストは、受験生の公平確保の観点から、全国一斉に実施する大学入試 センター試験にはなじまない。 【 137 (39.6 %) 】		21.2	22.2	62.2	59.8	43.8	36.7	36.3	25.0
④ 各大学における第2次試験での実績をふまえて検討すべき問題であると考え る。 【 133 (38.4 %) 】		55.6	27.4	48.9	50.6	26.8	30.1	40.9	12.5
⑤ その他 【 53 (15.3 %) 】		13.3	9.8	15.3	14.8	10.7	7.5	32.7	18.8
○ 未記入・保留等 【 7 (2.0 %) 】		6.6	3.9	3.1	0	2.7	0	0	6.3

Ⅲ. その他この問題全体についてご意見があれば、その要点についてご記入下さい。

(略)

## 大学の学部系統分類表

<p>▽ 人文科学</p> <p>文学関係</p> <p>史学関係</p> <p>哲学関係</p> <p>▽ 社会科学</p> <p>法学・政治学関係</p> <p>商学・経済学関係</p> <p>社会学関係</p> <p>▽ 理学</p> <p>数学関係</p> <p>物理学関係</p> <p>化学関係</p> <p>生物学関係</p> <p>地学関係</p> <p>▽ 工学</p> <p>機械工学関係</p> <p>電気通信工学関係</p> <p>土木建築工学関係</p> <p>応用化学関係</p> <p>応用理学関係</p> <p>原子力工学関係</p> <p>鉱山学関係</p> <p>金属工学関係</p>	<p>繊維工学関係</p> <p>船舶工学関係</p> <p>航空工学関係</p> <p>経営工学関係</p> <p>工芸学関係</p> <p>▽ 農学</p> <p>農学関係</p> <p>農芸化学関係</p> <p>農業工学関係</p> <p>農業経済学関係</p> <p>林学関係</p> <p>林産学関係</p> <p>獣医学・畜産学関係</p> <p>水産学関係</p> <p>▽ 保健</p> <p>医学関係</p> <p>歯学関係</p> <p>薬学関係</p> <p>看護学関係</p> <p>医学専門学群</p> <p>▽ 商船<sup>*</sup></p> <p>商船学関係</p>	<p>▽ 家政<sup>*</sup></p> <p>家政学関係</p> <p>食物学関係</p> <p>被服学関係</p> <p>住居学関係</p> <p>児童学関係</p> <p>▽ 教育</p> <p>教育学関係(教員養成を除く)</p> <p>教員養成関係</p> <p>体育学関係</p> <p>体育専門学群</p> <p>▽ 芸術<sup>*</sup></p> <p>芸術関係</p> <p>デザイン関係</p> <p>音楽関係</p> <p>芸術専門学群</p> <p>▽ その他<sup>*</sup></p> <p>教養学関係</p> <p>総合科学関係</p> <p>人文・社会科学関係</p> <p>国際関係学関係</p>
--	--	---

注記(1) この分類は、「学校基本調査報告書」(高等教育機関)の学科系統分類表によるものです。

(2) 今回調査の学部系統別統計では、\*の商船、家政、芸術、その他を合わせて「総合」の分類としました。